

防災ラジオドラマ

グループ名 「箕面自由学園放送部防災課」

タイトル 「避難中、緊急避難」

●登場人物

上野・・・高校

河合

佐藤

さと子

校長

教頭

担任

生徒1

生徒2

消防隊長

消防隊員

街の方々

♪ 火災警報器の音

教頭（アナウンス）：えー、食堂より火が出ました。生徒の皆さんは速やかに避難

して下さい。先生方は先にグラウンドに出て、人数確認を行

ってください。

担任：ということ皆、避難をはじめてください。

♪ クラス内の喧騒

上野：だるー。

河合：でも授業なくなるし、いいじゃんか

佐藤：上野君、河合君静かに。・・・ふざけると燃えちゃいますよ

上野：あーはいはい、燃えちゃう燃えちゃう・・・

担任：ほら早く。訓練だからっていい加減にしちやいかん。普段の構えが・・・

河合：はーいはい。先生早くしないと燃えちゃうよ？

教頭（アナウンス）：ただいまより、3階から1階までの西側の防火シャッターが

閉まります。東側の階段を使って避難して下さい。

上野 …防災訓練っていつつも火事だよな

河合 …この辺りってあんまり地震とかないからな

佐藤 …でも神戸の大震災がありましたよね。もう二十年くらい前ですけど・・・。

上野 …起きたら起きたでなんとかなるって。

河合 …だよな。うちの母さんなんか非常袋勝ったみたいだけども、どこいったかわかんないーって言うってたよ

上野 …あー・・・うちもあつたなあ

佐藤 …そういうものって常に確認しなきゃいけないんですけどね。

♪ 階段を下りる沢山の生徒の喧騒

上野 …・・・なんだこれ、階段人だらけじゃん。俺ら三階だからいいけど、六階とかだったらだるそー・・・

河合 …この学校さ、階段せまいじゃん。この階段に五百人だろ？本当に火事だったら、押し合いになるんだろうなあ

上野 …（ぶつかられて）うっ・・・誰だよ、今押したの！危ないじゃねーか！

♪ わずかな振動音。初期微動到達

佐藤 …え、地震？

河合 …・・・まさか

佐藤 …揺れてる・・・揺れてますよ！

♪ 主要動到達、悲鳴

上野 …おい、前見てみる・・・火だ・・・化学室燃えてんぞ！

佐藤 …あ、宇城の防火シャッターが閉まってます・・・早く！皆走って・・・走ってください！！

河合 …だめだ、化学室なんて薬品だらけじゃん！

生徒1 …下の奴早く降りろよ！校舎崩れるぞ！

生徒2 …化学室燃えてて進めないんだって！西側はシャッター降りてて戻れないよ

佐藤 …揺れは弱まりましたけど・・・

上野 …どうすんだよ・・・ごほっ・・・すげー煙・・・

さと子 …シャッター上げてよ！早く！

上野 …おい前のシャッターも降りてくるぞ

河合 …そっか、化学室の日に反応したのか・・・助かった・・・

佐藤 …違います・・・助かったんじゃないやありません。僕らは閉じこめられたんです！！

さと子 …また、揺れたら・・・つどうしよう！クラスの皆と離れちゃった！

上野 …早くでねーと・・・ぐ、くそっ、このシャッター重くて開かねえ！

佐藤 …・・・あれ、天井にはしごが・・・

さと子 …あ、この下、見て！床に継ぎ目がある！

河合 …この取っ手をこう、ひいて・・・開いた！なんかわかんないけど・・・下に
部屋が！

佐藤 …そっか、はしごで下に？

上野 …いいから速く飛びこめ！崩れんぞ！

佐藤 …え、でも・・・

河合 …下、ダンボールだな！

上野 …うまく飛び降りろよ！

♪ じわり

河合 …揺れ、おさまったな・・・

上野 …てか、こんあとこに部屋はあったなんてなあ

さと子 …なに、此処・・・倉庫？

佐藤 …きんきゅーひなんぶつしこ（緊急避難物資庫）・・・って書いてあります。

でもここ、今の地図では消えてるんですよ。僕生徒会書記やって、この
前昔の記録を整理したら、この防災マップが出て来たんです。今日の訓
練の後で先生方に見て頂こうと思って、とっておいたんです。今の災害用
物資は、グラウンドの下の倉庫に入ってますから・・・

さと子 …ここ丘の上で水害にあわないから、地域の物資もまとめて管理してるんだ
っけ？

佐藤 …はい・・・なので先生方も知らないかもしれませんが・・・

上野 …それにしてもたくさん段ボールあるのにさ、中身がなにかわかんねーな

河合 …開けてみようぜ

上野 …お。カンパン！

河合 …水発見！

佐藤 …毛布もあります

上野 …でも賞味期限2001年で、十年も前・・・

河合 …でもさ、水とかあるにはあるし・・・なんとかなるんじやね？火がおさまれ
ば上にも上がれるし・・・そのうち誰かが探しに来てくれるっしょ

上野 …そうだな

河合 …まあ焦っても仕方ないし・・・待つか

上野 …なんか・・・腹減ったな

佐藤 …カンパン開けましようか？

さと子 …冷えて来たね・・・今何時だろう？

河合 …時計は？

上野 …あー・・・ないな

さと子：いつも携帯あるしさあ・・・

上野：その携帯も机の中に入れてばなしー

河合：だよな

さと子：静かだね

佐藤：はい・・・外はどうなってるんでしょう・・・

さと子：・・・ねえここからどうやって出るの？

上野：そーいや、この部屋出口は天井の扉一カ所だけみたいだし・・・

佐藤：あの廊下にあったはしごを使って出入りしてたんでしょうね・・・

河合：つてことは・・・天井まで、どうやって上がればいいんだ？

上野：段ボール重ねれば・・・つてそんなに数無い・・・か

さと子：出られない・・・でも誰か探しくるよ！きっと！

上野：だよな。さすがに四人もいなけりゃ、流石に気付くだろ！

河合：そうだな

さと子：今頃点呼とかしているだろうし・・・気付いてくれるよ！

♪ 地上、避難してきた人々の喧騒

教頭：校長、自治会長さんがこられています。

校長：わかった。地域の皆さんに体育館に入って頂こう。グラウンドの地下倉庫

から必要な物を運んでもらつて

教頭：はい、で・・・あの・・・

校長：ん？

教頭：実は二クラスで生徒の点呼が済んでいません。

校長：！！・・・なぜいままで気がつかなかった！

教頭：避難訓練で先にグラウンドに出ていた三年の担任たちはそのまま地域の方の案内などに追われていて・・・階段で将棋倒しになった生徒の手当てを優先したので、点呼にまで手が回らず・・・

校長：心当たりは

教頭：生徒たちの話では、防火シャッターの間に何人かいたようだ、と。

上野(回想)：あれからどれくらいたったんだろう・・・。水はある。食料もある。毛布も十分にある。当分生き延びることはできるだろう・・・でも、もしこのまま見つけてもらえなかったら・・・

消防隊長：校長先生、余震も続いていますし、発生からもう4日目です。今日全てのがれきの下を確認して搜索は終了となります。

校長：そうですか・・・

消防隊員：隊長！廊下の壁に、はしごがありました！

消防隊長：はしご・・・上になれるのか！

消防隊員：いえ

校長：そんな話、聞いたことありません・・・

消防隊長：おかしいな・・・今行く！

上野：地震から98時間後、俺たちは救出された。・・・でも、もしあの時、はし

ごに気付いてもらえなかったら・・・